

世界史

【第1問】 冷戦終結前後から現在までの世界に関する次の文章 A と B を読むとともに、地図【I】を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

ソ連では、（ ア ）の指導下でペレストロイカが推進され、1989年に複数候補者制の選挙に基づいて連邦人民代議員が選ばれた。1990年には共産党の指導にかわり、強力な権限をもつ大統領制が導入された。

1989年には、ハンガリーやチェコスロヴァキアにおいて共産党単独政権が倒壊し、同年、（ イ ）では、反体制運動が勝利をおさめ、チャウシェスク夫妻が処刑された。

東欧における急速な民主化はソ連邦内の諸民族にも大きな影響を与えることとなり、独立運動が始まっていった。1991年12月には、（ ウ ）を大統領とするロシア連邦を中心に11の共和国が^a独立国家共同体を結成し、これによりソ連邦は解体した。

問1 空欄（ ア ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①プーチン
- ②スターリン
- ③エリツィン
- ④ゴルバチョフ

問2 空欄（ イ ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ポーランド
- ②ルーマニア
- ③東ドイツ
- ④ユーゴスラヴィア連邦

問3 空欄（ ウ ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①プーチン
- ②スターリン
- ③エリツィン
- ④ゴルバチョフ

問4 下線部(a)独立国家共同体に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 4

X：独立国家共同体は、CIO と表記される。

Y：2009年には、独立国家共同体からグルジア（ジョージア）が脱退した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問5 下線部(a)独立国家共同体に関連して、1993年時点で独立国家共同体に含まれていた国として、最も適切なものを、次の①から⑧の中から一つ選び、番号で答えなさい。 5

①フランス

②ドイツ

③スペイン

④エストニア

⑤ラトヴィア

⑥リトアニア

⑦ウクライナ

⑧トルコ

B

第二次世界大戦後の世界では、工業製品の輸入関税の大幅な引き下げが実現し、貿易の自由化が進展した。1995年には、(b)世界貿易機関が発足し、農産物や金融・知的所有権・サービス取引面での自由化が始まった。

ヨーロッパでは、1993年11月に(c)マーストリヒト条約が発効し、(d)ヨーロッパ連合が発足した。その後、加盟国は東欧にも拡大されたが、東西ヨーロッパ間の経済格差がめだつようになるなど、加盟国内での貧富の差も問題視されている。

一方、アメリカ合衆国は、西欧経済が排他的ブロック化に向かうものと警戒し、1994年には、(エ)を発足させた。アジア太平洋地域でも、(e)アジア太平洋経済協力会議が開かれた。このように、冷戦終結後の世界経済は、多面的な構造に変化していった。

問 6 下線部(b)世界貿易機関に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 6

X：世界貿易機関は、貿易自由化の推進とともに、貿易紛争の調停にもあたっている。

Y：世界貿易機関は、GATT にかわって設置された。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問 7 下線部(c)マーストリヒト条約に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 7

X：ヨーロッパ連合である、EC の設立条約である。

Y：ヨーロッパ共通通貨導入が規定された。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問 8 下線部(d)ヨーロッパ連合に関連して、地図【I】の①から⑤の国のうち、1995年にヨーロッパ連合に加盟した国の組合せとして最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。 8

地図【I】



- ① ① a、b、c
- ② ② a、b、d
- ③ ③ a、b、e
- ④ ④ b、c、d
- ⑤ ⑤ b、c、e
- ⑥ ⑥ c、d、e

問 9 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 9

- ① NATO
- ② NPT
- ③ NIES
- ④ NAFTA

問10 下線部(e)アジア太平洋経済協力会議に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

10

X：第1回アジア太平洋経済協力会議は、1989年に開かれた。

Y：アジア太平洋経済協力会議は、ANZUS と表記される。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

【第2問】ヴェルサイユ体制下の欧米諸国に関する次の文章 A と B を読むとともに、地図【Ⅱ】を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

1919年1月、第一次世界大戦の終結について議論するため、戦勝国が集まり、(a)パリ講和会議が開催された。講和の基礎となる原則は、(ア)大統領が1918年に発表した(b)十四カ条であった。

1919年6月には、パリ郊外で、ドイツとのヴェルサイユ条約が調印され、ドイツは(イ)を失うこととなった。また、この条約により(c)国際連盟の設置も決まった。

問1 下線部(a)パリ講和会議に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 11

X：パリ講和会議が開催されたヴェルサイユ宮殿は、ロココ美術の代表的な例である。

Y：ヴェルサイユ条約が調印された「鏡の間」では、かつてドイツ皇帝ヴィルヘルム1世の即位式もおこなわれた。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問2 空欄 (ア) に入る語句として最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 12

①マッキンリー

②ウッドロー＝ウィルソン

③セオドア＝ローズヴェルト

④ハーディング

問3 下線部(b)十四カ条に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 13

X：ロシア革命の社会主義に対抗しようとしたものである。

Y：主な内容として、秘密外交の廃止、海洋の自由、軍備増強などがある。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問4 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 14

- ①アルザス・ロレーヌ
- ②バイエルン
- ③ロンバルディア
- ④プロイセン

問5 下線部(c)国際連盟に関連して、国際連盟の本部が設置された場所として最も適当なものを、地図【Ⅱ】の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 15

地図【Ⅱ】



B

イタリアでは第一次世界大戦後、（ウ）の率いる(d)ファシスト党が勢力を拡大した。ファシスト党は、強権的な指導者や国家が国民統合をはかる必要性を主張し、この主張は（エ）と呼ばれた。対外的には、1929年に(e)イタリアと国交断絶状態にあったローマ教皇庁と和解し、（オ）の独立を認めた。

問6 空欄（ ウ ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 16

- ①マッツイーニ
- ②カヴァール
- ③ガリバルディ
- ④ムッソリーニ

問7 下線部(d)ファシスト党に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 17

X：制服着用や軍隊式行進などのスタイルは、ナチスにも模倣された。

Y：ローマ進軍を組織し、政府に圧力をかけた。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問8 空欄（ エ ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 18

- ①実証主義
- ②全体主義
- ③自然主義
- ④功利主義

問9 下線部(e)に関連して、両者が和解に至った条約名として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 19

- ①ベルリン条約
- ②ロカルノ条約
- ③ラテラノ条約
- ④四カ国条約

問10 空欄（ オ ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 20

- ①シチリア
- ②コルシカ
- ③サルデーニャ
- ④ヴァチカン市国

【第3問】宗教改革に関する次の文章 A と B を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

16世紀前半、(a)教皇レオ10世は、(b)サン＝ピエトロ大聖堂の新築資金を調達するために、贖宥状（免罪符）を売り出していた。これに対して、ドイツの(c)マルティン＝ルターは、魂の救いは教会への喜捨などの善行にはよらず、キリストの福音を信じること（福音信仰）のみによるという確信から、贖宥状の悪弊を攻撃する（ア）カ条の論題を発表した。

問1 下線部(a)教皇レオ10世に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 21

X：聖職者への課税に反対してイギリス・フランス国王と争った。

Y：フッガー家出身だった。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問2 下線部(b)サン＝ピエトロ大聖堂に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 22

X：大ドームをもったルネサンス様式の建築として知られる。

Y：ミケランジェロが建築に関わった。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問3 下線部(b)サン＝ピエトロ大聖堂の写真として最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 23

①



②



③



④



問4 下線部(c)マルティン＝ルターに関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 24

X：『愚神礼讃』を著した。

Y：『神曲』を著した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問5 空欄（ア）に入る数字として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 25

①六十五

②七十五

③八十五

④九十五

B

スイスでは、ツヴィングリが（イ）で宗教改革を開始した。その後、(d)カルヴァンが（ウ）で独自の宗教改革を行った。カルヴァンは、(e)魂が救われるかどうかは、あらかじめ神によって決定されているという説を説き、西ヨーロッパの商工業者の支持を得た。

(f)16世紀後半にかけては、カルヴァン派やルター派などの新教徒（プロテスタント）と呼ばれるキリスト教の宗派が西ヨーロッパ各地に広まっていった。

問6 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 26

①ヴェネツィア

②チューリヒ

③ナポリ

④ミラノ

問7 下線部(d)カルヴァンに関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 27

X：『新約聖書』のドイツ語訳を完成させた。

Y：長老主義を取り入れた。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問8 空欄（ウ）に入る語句として最も適切なものを最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 28

①アウクスブルク

②ヴォルムス

③ジュネーヴ

④シュマルカルデン

問9 下線部(e)の説に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 29

X：この説は、三位一体説と呼ばれる。

Y：この説は、職業労働を神の栄光をあらわす道と理解する考えと結びついた。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問10 下線部(f)に関連して、16世紀半ばごろにプロテスタンティズム（新教）が大いに普及した地域として誤っているものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

30

①イングランド王国

②スコットランド王国

③スウェーデン王国

④スペイン王国

【第4問】 イスラーム世界の形成に関する次の文章 A と B を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

イスラーム教をとなえた(a)ムハンマドが死んだ後、イスラーム教徒は共同体の指導者として（ア）を(b)カリフに選んだ。アラブ人はカリフの指導のもと、(c)大規模な征服活動（ジハード〈聖戦〉）を行った。しかし、まもなくカリフ権をめぐる対立が起こり、第4代カリフの（イ）が暗殺される事件がおこった。

問1 下線部(a)ムハンマドに関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 31

X：アラビア半島のメディナで生まれた。

Y：622年に信者を率いてメッカに移住した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問2 空欄（ア）に入る語句として最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 32

①アブー＝バクル

②アリー

③ハールーン＝アッラシード

④ファーティマ

問3 下線部(b)カリフに関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 33

X：イスラーム世界では、複数のカリフがならびたことは歴史上一度もない。

Y：カリフという名称は、「後継者」を意味するカーリダーサのヨーロッパなまりである。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問4 下線部(c)7世紀中頃のアラブ人による大規模な征服活動に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 34

X：西方ではシリアとエジプトを神聖ローマ帝国から奪った。

Y：東方ではアケメネス朝を滅ぼした。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問5 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 35

①アブー＝バクル

②アリー

③ハールーン＝アッラシード

④ファーティマ

B

第4代カリフが暗殺されると、661年に(d)ムアーウィヤは、（ウ）にウマイヤ朝を開いた。

8世紀になると、ウマイヤ朝は中央アジアの一部やインド西部、北アフリカなどを征服し、(e)やがてイベリア半島に進出した。その後、フランク王国へ侵入を繰り返したが、732年に(f)トゥール・ポワティエ間の戦いに敗れ、退いた。

こうして成立した広大なイスラーム世界では、征服地の先住民に(g)地租や人頭税が課せられた。

問6 下線部(d)ムアーウィヤに関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 36

X：第4代カリフと敵対していた。

Y：シリア総督だった。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問7 空欄（ ウ ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 37

- ①アレクサンドリア
- ②エルサレム
- ③ダマスクス
- ④バグダード

問8 下線部(e)に関連して、711年にウマイヤ朝が滅ぼした国の名として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 38

- ①東ゴート王国
- ②西ゴート王国
- ③ブルグンド王国
- ④ランゴバルド王国

問9 下線部(f)トゥール・ポワティエ間の戦いに関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。
39

X：カール＝マルテルがイスラーム軍を撃退した。

Y：この戦いの功績が認められ、直後にカールの戴冠がおこなわれた。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問10 下線部(g)イスラーム世界の地租や人頭税に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。
40

X：地租をハラージュという。

Y：人頭税をジズヤという。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤